

講演 [全専攻対象]

中世ヨーロッパの音楽

カルロ・フォルリヴェジ

Carlo Forlivesi [イタリア国立キャリア音楽院教授]

In collaboration with Associazione Incontri Musicali,
Quartu Sant'Elena, Cagliari

イタリアの作曲家、演奏家、研究者。ポローニャ出身。ポローニャ国立音楽院を経てミラノ・G・ヴェルディ音楽院を首席で卒業、作曲修士号を取得。ローマ・アカデミア・聖チェチリアで作曲博士号を取得。フランスのIRCAM(ボンピドゥーセンター、音響音楽研究所)ブーレーズ、ドゥティエ、ファーニホウ、グリゼイ、ハーヴェイ、リゲティ、マヌリ、ムライ、リセ、ストロッパ、クセナキス、リゲティ、ジョルディ・サバル等に師事。デンマーク政府特別研究員としてDIEM(デンマーク電子音響音楽研究所)でコンピューター音楽の研究を深めた後、日本政府文部科学省政府給費生として、東京音楽大学大学院で湯浅譲二に師事。またアイヌ音楽の研究に取り組み、論文を発表。2005年アメリカフルブライトコミッション研究員としてノースウェスタン大学でオーガスタ・リード・トーマスに師事し研究。多数の受賞のほか、日本伝統音楽と舞踊、アイヌ音楽分野で研究を重ねる。作品は世界各地の音楽祭、劇場で定期的に上演されている。オーケストラ、合唱、室内楽、舞踊音楽、電子音楽、日本伝統楽器のために作品が書かれている。東京藝術大学、パリ国立音楽院、ソルボンヌ大学、アデレイド大学、メルボルン大学、京都精華大学、京都市立芸術大学で講演。本学大学会館で電子音楽「レクイエム」が5月23日に演奏されている。現在、イタリア国立キャリア音楽院教授。

音楽 [記譜音楽] の源流、中世ヨーロッパ音楽について

古楽の大家ジョルディ・サヴァールにも師事した

ポローニャ出身の作曲家・研究者・鍵盤奏者

カルロ・フォルリヴェジ氏が詳しく解説します。

なお、この講演は、2011年3月11日に起きた東日本大震災の犠牲者と

2012年5月20日、29日にフォルリヴェジ氏が本学来学中に

彼の出身地エミリア・ロマーニャ地方で起こったイタリア北部地震の犠牲者の皆様に向けて

本学卒業生が7月16日に草津で行ったチャリティへの御礼として無償で提供されるものです。

[担当: 中村典子 研究室213 tel:075-334-2363]

2012年10月30日(火) 18:00-20:00 京都市立芸術大学音楽棟専門講義室

この講演の前日の**関連公演のお知らせ**

10月29日(月)19時より

滋賀県草津市のカトリック草津教会において

イタリア、エミリア・ロマーニャ地方

ファエンツァ出身のカルロ・フォルリヴェジ氏が

2011年3月11日に起こった東日本大震災の犠牲者と

2012年5月20日と29日に起こったイタリア北部地震の犠牲者への

祈りとしてオルガン演奏を捧げます。

プログラムのファエンツァ手稿は

録音も殆どない希少な中世の響きの数々

これらは記譜された音楽の源流

この貴重な響きには是非直接触れて頂きたいと謹んでご案内いたします。

皆様からのご寄付は国際NGOカリタスの一員である

カトリックの援助・福祉活動を担当するカリタスジャパンを通じ

東日本とイタリア北部の被災地に全額送られます。

クラムジカフレンドシップ公演8

記譜音楽の源流 モンスラートの朱い本 ファエンツァ手稿を通して

2012年**10月29日**(月) 19:00-20:30 [開場:18時30分]

カトリック草津教会 [525-0034 滋賀県草津市草津1-9-21

[入場無料]

JR草津駅徒歩10分

contact:clumusica 090-8754-5805

オルガン:カルロ・フォルリヴェジ [イタリア国立キャリア音楽院教授]

clumusica friendship concert for charity 8

29 October 2012,Monday 19:00-20:30 Catholic Kusatsu Church

Origins of Wester Notation

ST. HILDEGARD VON BINGEN (1098 - 1179)

GIRAUT DE BORNELH (c.1138 - 1215)

LLIBRE VERMELL DE MONTSERRAT (14世紀)

CODEX FAENZA (15世紀)

Organ:Carlo Forlivesi [born in FAENZA]

Llibre Vermell de Montserrat CODEX FAENZA

Organ:Carlo Forlivesi [born.FAENZA]